

名取市社会体育施設長寿命化計画

令和 7 年 3 月

名 取 市

目 次

第1章 計画の背景と目的	1
1 計画の背景	1
2 計画の位置付け	1
3 計画の目的	2
4 計画期間	2
5 対象施設	2
第2章 社会体育施設の長寿命化に関する基本的な方針	3
1 社会体育（スポーツ）施設に関する政策方針	3
2 社会体育（スポーツ）施設の施策展開	3
3 社会体育（スポーツ）施設と防災計画	4
4 基本的な方針	4
（1）屋内施設（建物）の管理方針	5
（2）屋外施設（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）の管理方針	5
第3章 社会体育施設の維持管理計画	6
1 施設の劣化状況	6
（1）調査結果と評価基準	6
2 社会体育施設の現状評価	8
（1）個別施設の方向性【1次評価】	8
（2）スポーツ施設の基本方針【2次評価】	10
（3）スポーツ施設の管理方針（評価まとめ）	12
3 維持管理上の方針	13
4 今後の課題	13
5 改修等の優先順位付けと実施計画	14
（1）改修等の順位付け	14
（2）長寿命化修繕計画	15
（3）長寿命化修繕計画（施設ごと）	18
第4章 長寿命化計画の推進に向けて	19
1 推進体制等の整備	19
2 フォローアップ	19
資料編	
1 施設概要	22
2 施設の整備状況、利用状況及び運営状況	26
（1）対象施設の整備状況（建物）	26
（2）対象施設の整備状況（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）	26
（3）LED 照明の整備状況	27
（4）対象施設の利用者状況	27
（5）対象施設の使用料収入	28
（6）社会体育施設の AED 設置状況	29
3 劣化状況	30
（1）施設別劣化状況（建物）	30
（2）施設別劣化状況（屋外施設）	34

第1章 計画の背景と目的

1 計画の背景

国において2013（平成25）年に策定された「インフラ長寿命化基本計画」の中で、「公共施設等総合管理計画」の策定が地方公共団体に要請され、本市においては公共施設等の総合かつ計画的な管理を進めるための指針として、2017（平成29）年に「名取市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本市の社会体育施設は多くの施設で老朽化が進んでおり、計画的な改修・更新が必要となっております。そのため、2021（令和3）年に「名取市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として「名取市スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設）個別施設計画」を策定し、計画的な修繕や設備の更新に取り組んできましたが、一部の施設において、耐震診断の結果などから計画に乖離が生じています。

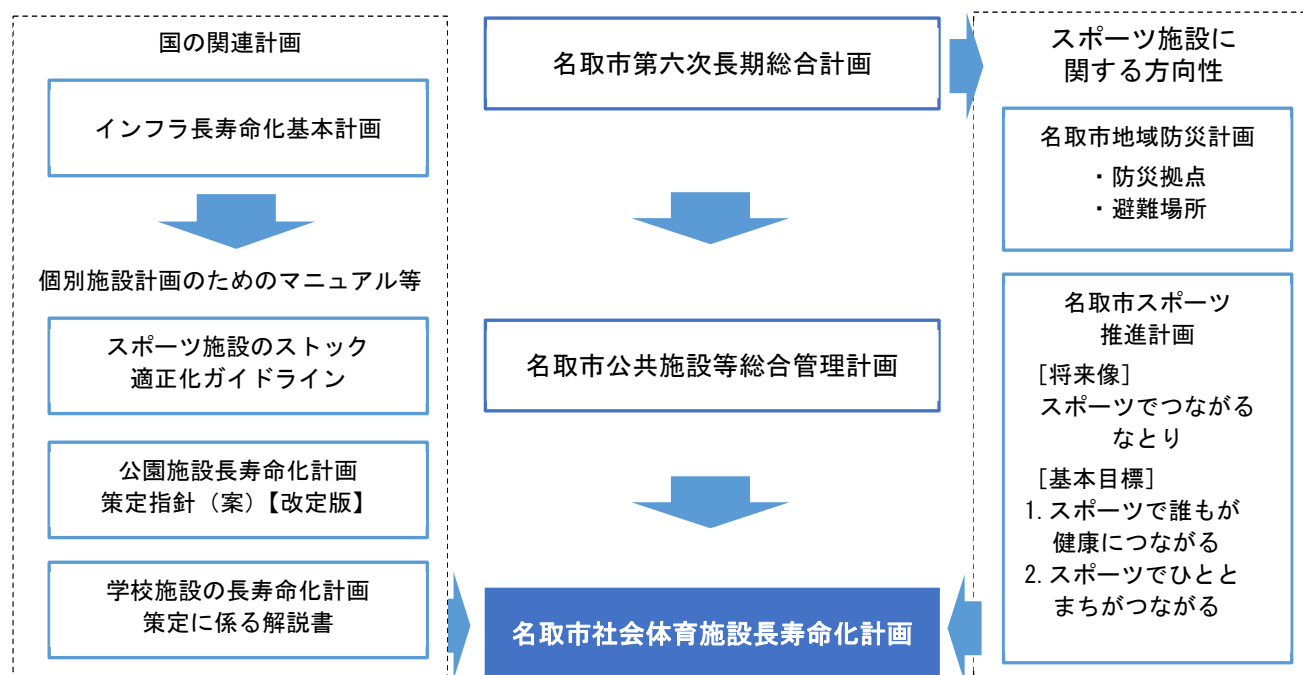
また、2024（令和6）年3月に策定した名取市スポーツ推進計画においても、基本目標の政策の方向性「1-5 均衡のとれたスポーツ環境の充実」において、体育施設の長寿命化に向けて引き続き計画的な改修・更新を行うものと定めており、中長期的な維持管理計画の策定が必要となっております。

2 計画の位置付け

本計画は、公共施設の今後の運営方針や維持管理方針を定めた「名取市公共施設等総合管理計画（2022（令和4）年9月一部改訂）」における社会体育施設の個別施設計画に位置付けるとともに、名取市第六次長期総合計画に掲げる「生涯スポーツの振興」を実現するための維持管理計画として位置付けます。

なお、2021（令和3）年8月に策定した「名取市スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設）個別施設計画」については、より現状に即した本計画へ置きかえるものとします。

図表：計画の位置付け



3 計画の目的

本計画は、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を実現しつつ、スポーツ施設に求められる機能を確保するため、施設の老朽化等の現状を把握し、スポーツ施設の役割等を考慮した上で、中長期的な維持管理の具体的方針・計画を策定することを目的とします。

4 計画期間

本計画は、今後 10 年間に於ける施設の実行計画を策定するものですが、中長期的な維持管理方針を打ち出す必要性を踏まえ、今後 30 年先までの維持管理の見通しを立てるものとします。

なお、社会情勢の変化や上位関連計画との整合など、必要に応じて見直しを行うものとします。

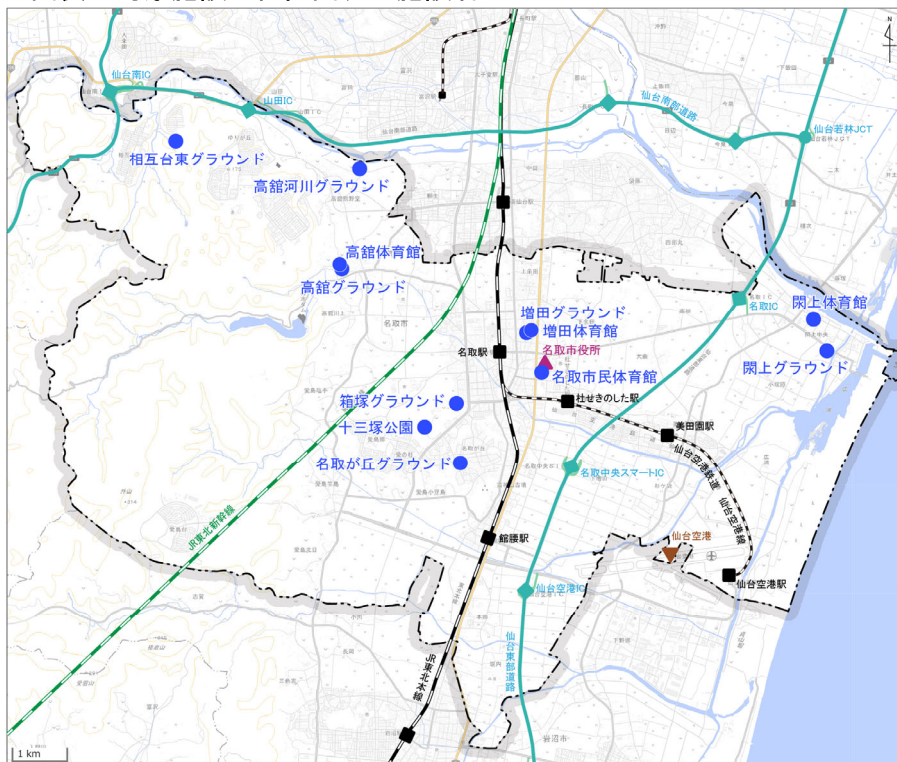
2025（令和7）年度～2034（令和16）年度

計画名称	2024年 以前	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年 以降
名取市第六次長期総合計画	2020年～2030年										
名取市公共施設等総合管理計画	2017年～2026年										
名取市社会体育施設長寿命化計画		2025年～2034年									

5 対象施設

本計画は、十三塚公園の体育施設や名取市民体育館、グラウンドなどの社会体育施設 15 施設を対象とします。対象施設は以下のとおりです。

図表：対象施設の位置図及び施設名



施設名
十三塚公園市民球場
十三塚公園市民陸上競技場
十三塚公園市民庭球場
十三塚公園管理棟
名取市民体育館
閑上体育館
増田体育館
高館体育館
増田グラウンド
高館グラウンド
高館河川グラウンド
箱塚グラウンド
名取が丘グラウンド
相互台東グラウンド
閑上グラウンド

※以下、十三塚公園施設は「十三塚公園」を省き施設名で表記する。

第2章 社会体育施設の長寿命化に関する基本的な方針

1 社会体育（スポーツ）施設に関する政策方針

本市では、2024（令和6）年3月に名取市スポーツ推進計画を策定しました。

名取市スポーツ推進計画では、計画期間終了年次となる2030（令和12）年度の成果指標として、「市民のスポーツ実施率50%」をめざしています。

図表：名取市スポーツ推進計画の成果指標と目標値

成果指標	現状	目標値（R12）
市民のスポーツ実施率	35.7% (R5)	50%
スポーツをすることが好きな子どもの割合	児童 86.7% 生徒 83.4% (ともに R4)	児童 90% 生徒 85%
障がい者スポーツに関わる市民の割合	7.7% (R5)	増加
体育施設の利用者数	422,909 人 (R4)	455,000 人
スポーツ環境の充実に関する市民の満足度	15.3% (H29)	22%

出典：名取市スポーツ推進計画

2 社会体育（スポーツ）施設の施策展開

名取市スポーツ推進計画では、基本目標の政策の方向性「1-5 均衡のとれたスポーツ環境の充実」において、市民のニーズに即したスポーツ環境を整備するものとし、学校施設や公園・広場、民間スポーツ施設を活用したスポーツ環境の充実・拡大を検討するとともに、体育施設の長寿命化に向けて引き続き計画的な改修・更新を行うものと定めました。

また、単なる場所の確保のみならず、競技や利用者の偏りがなく、ニーズの実態に即した提供ができるよう、継続的な現状の把握およびその反映に努め、施設機能の維持・向上やスポーツ備品の充実、ユニバーサルデザインの実装など、市民が安心・安全に利用できるよう、施設環境の向上に取り組めます。

図表：市民のニーズに即したスポーツ環境の整備

●施設の計画的な改修や備品等の充実
●公園等を活用したスポーツの場づくり
●施設予約システムの導入検討
●ウォーキングやランニングコースの紹介 など

出典：名取市スポーツ推進計画

また、2023（令和5）年度に実施した名取市民のスポーツ活動に関するアンケート調査の活動実態をみると、20歳代から30歳代では公共のスポーツ施設より民間のスポーツ施設の利用割合が高く、40歳代から60歳代では公共のスポーツ施設を利用する割合が高いことがわかりました。

図表：スポーツをする場所

項目	道路や遊歩道	自宅またはその周辺	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設	公民館	コミュニティ施設	学校（体育施設など）	職場	社会福祉施設	自然豊かなところ
総数	47.2%	56.7%	21.1%	16.9%	16.6%	8.9%	4.2%	10.4%	3.3%	0.9%	18.7%
10代	25.0%	37.5%	12.5%	8.3%	12.5%	4.2%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%	8.3%
20代	30.8%	57.7%	15.4%	15.4%	11.5%	0.0%	7.7%	15.4%	3.8%	0.0%	8.3%
30代	46.7%	53.3%	17.8%	28.9%	20.0%	8.9%	0.0%	8.9%	11.1%	2.2%	20.0%
40代	43.8%	54.2%	25.0%	12.5%	20.8%	6.3%	2.1%	8.3%	0.0%	0.0%	31.3%
50代	50.9%	67.3%	16.4%	18.2%	18.2%	1.8%	1.8%	3.6%	3.6%	0.0%	21.8%
60代	60.9%	63.8%	26.1%	15.9%	21.7%	2.9%	4.3%	5.8%	4.3%	0.0%	18.8%
70代	47.5%	60.0%	25.0%	20.0%	5.0%	15.0%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	12.5%
80代以上	46.7%	40.0%	23.3%	10.0%	13.3%	43.3%	10.0%	3.3%	0.0%	6.7%	10.0%

出典：名取市民のスポーツ活動に関するアンケート調査（R5）

3 社会体育（スポーツ）施設と防災計画

名取市地域防災計画（2023（令和5）年3月策定）におけるスポーツ施設の位置付けをみると、名取市民体育館は災害発生時の物資拠点施設、閉上公民館（体育館）は津波避難場所に指定されています。また、避難対策における指定緊急避難場所の指定では、大規模な地震による火災、津波等の災害から管内の住民等が一時避難するための場所として、グラウンドや体育館等の公共施設を対象に、管理者の同意を得た上で、災害の危険が切迫した緊急時において安全が確保される指定緊急避難場所を設定するとしています。

このことから、物資拠点施設の名取市民体育館や津波避難場所の閉上公民館（体育館）以外の本計画対象施設も指定緊急避難所に設定される優先度が高い施設です。災害発生時に適切な対応が図れる準備としてスポーツ施設の適切な維持管理が求められています。

4 基本的な方針

今後の社会体育施設を維持管理していくにあたり、体育館などの屋内施設であれば、建設してから経過年数や劣化状況、これまでの修繕状況など、多面的な視点から費用対効果を考え、施設ごとに目標使用年数を設定し、適切な維持管理に努めます。

また、地域スポーツの振興や賑わいを創出する施設とするため、利用者が気持ちよく利用できる施設を目指します。

具体的には、体育館などの屋内施設であれば、館内の内装やトイレ、シャワー室などの給排水設備や衛生環境の改善を行います。グラウンドなどの屋外施設であれば、水はけがよい舗装などの改善に取り組みます。

なお、照明設備においては、LED 照明器具への交換が完了していない施設は計画的に交換を行います。

（１）屋内施設（建物）の管理方針

本計画では、名取市公共施設等総合管理計画にある個別施設への具体的な対応として、施設の経過年数と後述する１次評価の安全性・機能性の評価を基に目標使用年数を設定しました。

具体的には、建設からまだ５年の閑上体育館は、これから計画的な修繕改修工事を設定できるため、名取市公共施設等総合管理計画で設定した８０年間活用する施設に位置付けました。

また、市民球場メインスタンドや名取市民体育館はこれまで、壊れたら直す対処療法的な維持管理を行っており、建設当初から８０年間活用することを前提とした維持管理を行ってこなかったため、施設の劣化状況などから目標使用年数を６０年間と設定しました。

※安全性・機能性の評価は、第３章２（１）個別施設の方向性【１次評価】を参照のこと。

（２）屋外施設（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）の管理方針

施設の利用頻度や降雨状況に影響を受けるため随時必要な修繕・改修を行います。

クレイ舗装においては、安全かつ快適に施設を利用していただくために、水はけの状況や表層材の滑り具合（粘性度）により修繕・改修の実施を判断します。

また、屋外施設は周辺の住環境に影響を及ぼすことから必要に応じてフェンスや防音壁などの整備を行い、近隣住民と施設利用者の共生に努めます。

相互台東グラウンドにおいては既存の簡易トイレを再整備し、施設環境の改善に取り組みます。



第3章 社会体育施設の維持管理計画

1 施設の劣化状況

(1) 調査結果と評価基準

1) 屋内施設（建物）の調査結果

屋内施設（建物）の調査対象となった4施設のうち、最も健全度が低いのは、十三塚公園市民球場メインスタンド、次に名取市民体育館、十三塚公園管理棟の順となっています。

また、十三塚公園管理棟と名取市民体育館は、屋根・屋上がC評価となりました。建物を長く活用していくためには、屋根・屋上、外壁からの漏水を防止することが有効です。

なお、増田体育館、高館体育館は取壊しを予定しているため本調査の対象外としました。

図表：屋内施設（建物）の調査評価一覧

施設名	経過年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	機械 設備	健全度	評価
閑上体育館	5	a	b	a	a	a	93	B
管理棟	36	c	b	b	b	b	72	C
名取市民体育館	43	c	b	b	c	c	63	C
市民球場 (メインスタンド)	28	b	b	c	b	b	62	C

屋内施設（建物）の調査の健全度と評価基準

管理棟や体育館などの健全度の算出については、目視で評価する項目（図表①）と、経過年数により評価する項目（図表②）を、それぞれの基準でA評価からD評価の4段階で評価を行います。各項目の評価に対し、部位の評価点（図表③）に部位のコスト配分（図表④）を乗じて得た数値の合計を部位のコスト配分の計で除することで、健全度を算出しています。

最終的な評価は、8ページの「図表：安全性・機能性の評価」の健全度に対応した評価です。

図表①：目視による評価（屋根・屋上、外壁、内部仕上げ）

評価	基準
a	概ね良好
b	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
c	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
d	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている）、（設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

図表③：部位の評価点

評価	評価点
a	100
b	75
c	40
d	10

図表②：経過年数による評価（電気設備、機械設備）

評価	基準
a	20年未満
b	20～40年
c	40年以上
d	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

図表④：部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書/文部科学省

＜例＞閑上体育館の健全度

評価項目	評価	算出方法
屋根・屋上	a	(評価点) 100 × (部位のコスト配分) 5.1 = 510・・・(1)
外 壁	b	(評価点) 75 × (部位のコスト配分) 17.2 = 1,290・・・(2)
内部仕上げ	a	(評価点) 100 × (部位のコスト配分) 22.4 = 2,240・・・(3)
電 気 設 備	a	(評価点) 100 × (部位のコスト配分) 8.0 = 800・・・(4)
機 械 設 備	a	(評価点) 100 × (部位のコスト配分) 7.3 = 730・・・(5)
健 全 度		(1) + (2) + (3) + (4) + (5) = 5,570 ÷ 60 (部位のコスト配分合計) ≒ 93

２）屋外施設（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）の調査結果

屋外施設の調査対象となった 10 施設のうち、部分的な劣化が進行している B 評価が 8 施設、全体的に劣化が進行している C 評価が箱塚グラウンド、高館グラウンドの 2 施設となりました。

図表：グラウンドの調査評価一覧

施設名	経過 年数	評価
閑上グラウンド	5	B
相互台東グラウンド	10	B
市民陸上競技場	40	B
市民庭球場	40	B
市民球場（グラウンド）	42	B
名取が丘グラウンド	49	B
高館河川グラウンド	51	B
増田グラウンド	70	B
箱塚グラウンド	50	C
高館グラウンド	64	C

屋外施設（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）の調査の評価基準

屋外施設の目視による劣化評価は、公園施設長寿命化計画策定指針を参考に、全体的に健全である A 評価から全体的に顕著な劣化がある D 評価の 4 段階で評価します。

図表：目視による評価

評価	基準
A	- 全体的に健全である。 - 緊急の修繕の必要がないため、日常の維持保全で管理するもの。
B	- 全体的に健全だが、部分的な劣化が進行している。 - 緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	- 全体的に劣化が進行している。 - 現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、若しくは更新が必要なもの。
D	- 全体的に顕著な劣化がある。 - 重大な事故につながる恐れがあり、施設の利用禁止あるいは、緊急の補修、若しくは更新が必要とされる。

出典：公園施設長寿命化計画策定指針（案）【H30 年改定版】/国土交通省

2 社会体育施設の現状評価

(1) 個別施設の方向性【1次評価】

図表：1次評価の結果

施設名	安全性 機能性	経済性	施設の 方向性	耐震性	施設の 整備手法
閑上体育館	良	－	維持	○	長寿命化
管理棟	良	－	維持	○	長寿命化
名取市民体育館	良	－	維持	○	長寿命化
市民球場（メインスタンド）	良	－	維持	○	長寿命化
増田体育館	劣	劣	改廃	×	廃止
高館体育館	劣	劣	改廃	×	廃止

※経済性は、改善コスト、維持管理コスト、建替えまでの残り年数などを基に費用対効果を判断。

建替えまでの残り年数は、資料編2（1）対象施設の整備状況（建物）の図表を参照のこと。

※耐震性は、資料編2（1）対象施設の整備状況（建物）の図表を参照のこと。

○：耐震性能あり、×：耐震性能なし

建物を対象に「安全性・機能性」、「経済性」、「耐震性」を評価し、施設における維持管理の方向性及び整備手法を検討しました。（図表：個別施設の方向性【1次評価】フロー参照）。

安全性・機能性は、調査結果の健全度を基に評価します。

評価の結果、指標Bの部分的な劣化がみられるものとして閑上体育館、指標Cの全体的に劣化が進行しているものとして、管理棟、名取市民体育館、市民球場（メインスタンド）と評価しました。

なお、取壊しを予定しているため調査の対象外とした増田体育館、高館体育館を評価した場合、耐震性能を満たしておらず重大な事故につながる恐れがあるため指標Dの劣評価となります。また、経済性評価をみると両体育館ともに建設から60年以上経過した施設のため、これから費用をかけて耐震工事を行っても残りの使用年数から費用にかかる効果が薄いものと判断します。このため経済性も劣評価となり、改廃の評価を経て施設の廃止となります。

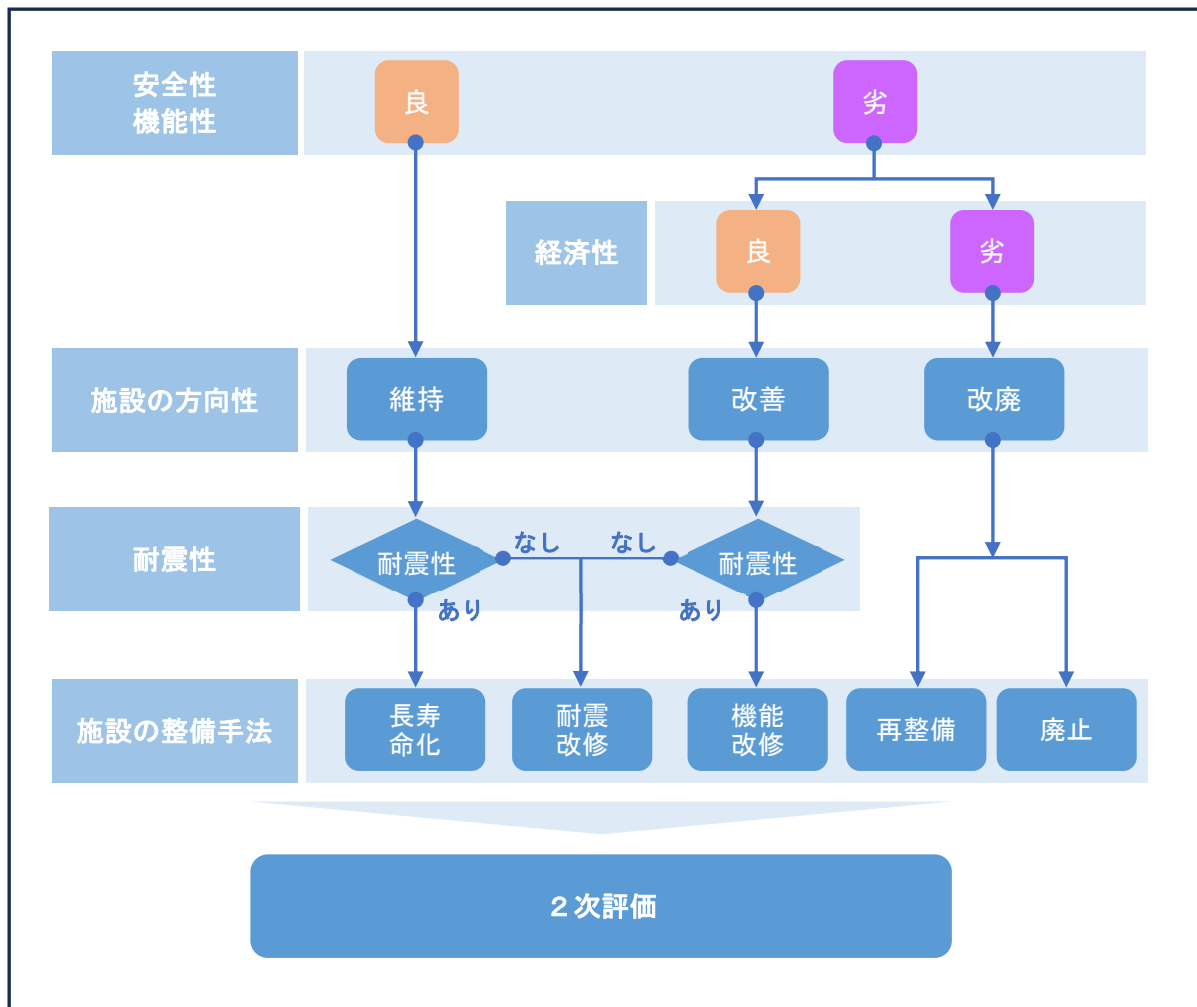
また、評価の対象外となった市民陸上競技場や増田グラウンドなどの屋外体育施設は、箱塚グラウンドを除き（遊水池への転換が予定されているため）、今後も適切な修繕や改修を行いながら維持管理に努めます。

※改廃とは、改築（再整備）または廃止をいいます。

図表：安全性・機能性の評価

安全性 機能性	評価	評価基準	健全度 (基準)	目標使用 年数	該当施設名	施設の 健全度
良	A	・全体的に健全である。 ・緊急の修繕の必要がないため、日常の維持保全で管理するもの。	100	80年間	該当なし	－
	B	・全体的に健全だが、部分的な劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。	99～75		閑上体育館	93
	C	・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、若しくは更新が必要なもの。	74～40	60年間	管理棟	72
					名取市民体育館	63
					市民球場 メインスタンド	62
劣	D	・全体的に顕著な劣化がある。 ・重大な事故につながる恐れがあり、施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、若しくは更新が必要とされるもの。	39～0	個別検討	増田体育館	－
					高館体育館	－

図表：個別施設の方向性【１次評価】フロー



出典：スポーツ施設のストック適正化ガイドライン

(2) スポーツ施設の基本方針【2次評価】

図表：スポーツ施設の基本方針

施設名	経過 年数	目標		残り 使用 年数	残り 使用 年数	残り 修繕 改修数	基本 方針
		仮評価	評価				
関上体育館	5	a	B	80 年	75 年	3 回	機能 保持
市民球場 (メインスタンド)	28	b or c	C	60 年	32 年	1 回	機能 保持
管理棟	36	b or c	C	60 年	24 年	1 回	機能 保持
名取市民体育館	43	c or d	C	60 年	17 年	1 回	機能 保持
増田体育館	71	d	D	60 年	-11 年	-	廃止
高館体育館	64	d	D	60 年	-4 年	-	廃止

※目標使用年数は、第3章2（1）個別施設の方向性【1次評価】を参照のこと。

※施設の修繕・改修周期を20年程度と想定します。

※仮評価は、施設の経過年数のみでの評価。詳細は「図表：経過年数による屋内施設（建物）の仮評価（11 ページ）」を参照のこと。

2次評価では、1次評価結果の「施設の整備手法」に政策優先度を加味して基本方針を検討しました。基本方針は、市の財政状況を考慮して経済性が低く将来的に維持管理し続けることが難しい施設の廃止や転用の時期、方法について検討します。また、現在の施設保有量では政策の実現が難しい場合、新たな施設整備を検討します。（図表：スポーツ施設の基本方針の検討【2次評価】フロー参照）。

1）基本方針の検討

第3章2（1）個別施設の方向性【1次評価】で施設の目標使用年数を設定しました。この設定に基づき、関上体育館は80年間、その他の施設は60年間活用していきます。

目標使用年数の視点に基づき、1次評価で「長寿命化」と判定した4施設をみると、60年間活用する3施設は、建替えまで残り20年から30年程度となります。施設の修繕・改修周期を20年程度と想定すれば、あと1回程度の修繕・改修工事を行えばよいので、効率性や経済性を考慮して、既存施設の維持（機能保持）に努めるものとします。また、目標使用年数80年間と設定した関上体育館は、建設から5年の新しい施設であるため適切な維持管理（機能保持）を行いながら施設の長寿命化に取り組みます。

1次評価で「廃止」と判定した増田体育館、高館体育館は、取壊しの予定です。

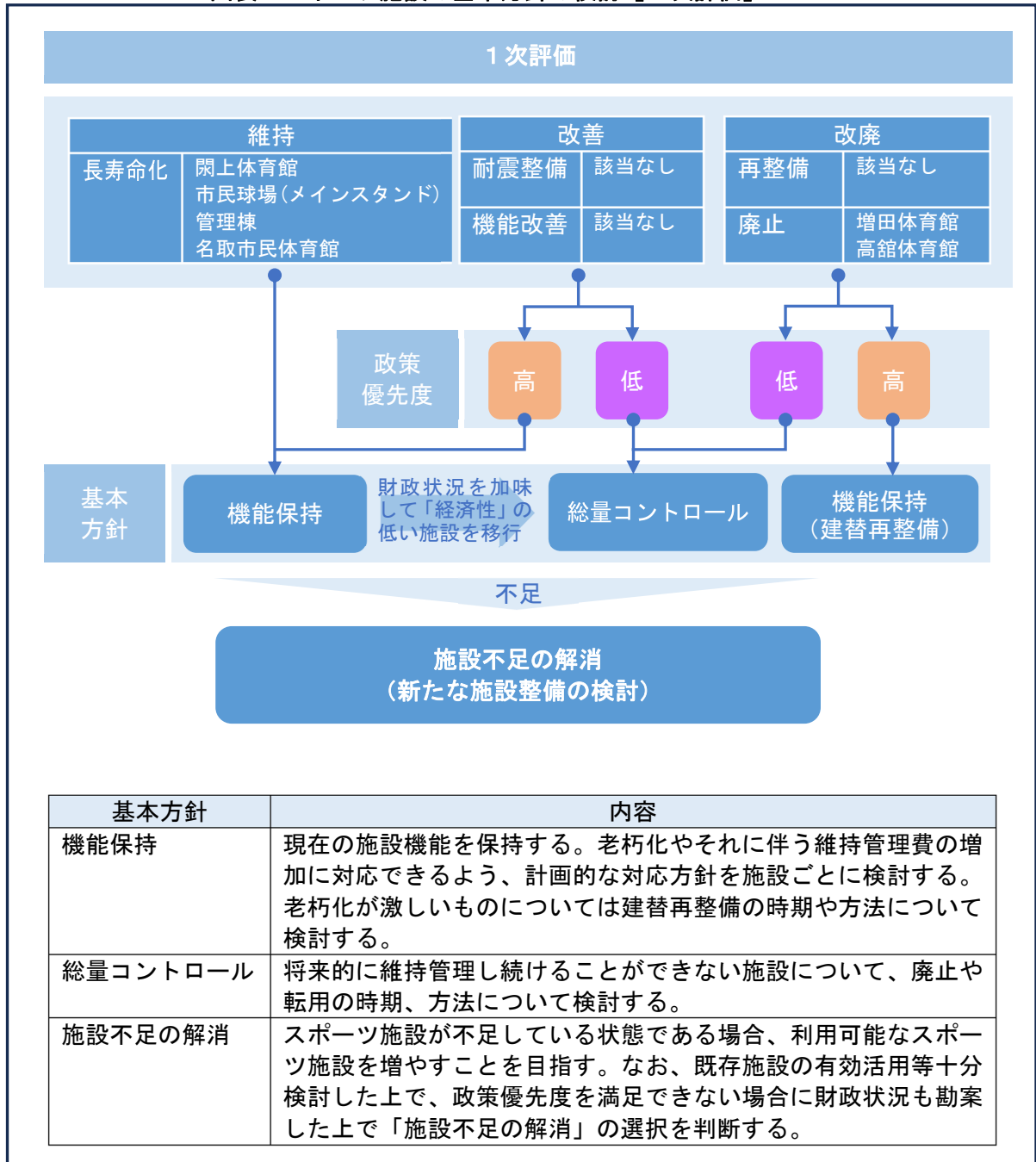
なお、市民球場や市民体育館は大規模施設であるため、円滑な建替えに向けた整備計画が必要です。

2）施設不足の解消の検討

取壊しを予定している増田体育館、高館体育館は、これまで無料体育施設として地域の団体やサークルなどを主に、利用頻度の高い施設でした。そのため、代替施設の検討が必要となっています。

今後策定予定である「名取市体育施設整備方針」において、施設不足の解消の検討も行っていきます。

図表：スポーツ施設の基本方針の検討【2次評価】フロー



出典：スポーツ施設のストック適正化ガイドライン

図表：経過年数による屋内施設（建物）の仮評価

経過年数	仮評価
10年未満	a
10年以上20年未満	a または b
20年以上40年未満	b または c
40年以上50年未満	c または d
50年以上	d

(3) スポーツ施設の管理方針（評価まとめ）

1) 屋内施設（建物）

屋内施設（建物）は、目標使用年数を設定し、閑上体育館は 80 年間、その他の施設は 60 年間活用（維持管理）していきます。

また、取壊しを予定している増田体育館、高館体育館は、本計画の現状評価においても建設年数や耐震性能不足から「廃止」と判定しました。今回の取壊しは、施設の老朽化や耐震性能不足による安全性を考慮したものであり、地域における体育施設の必要性を考慮したものではないため、今後、再整備の検討が必要です。

図表：屋内施設（建物）の管理方針

施設名	管理方針			評価 まとめ
	目標 使用 年数	1 次評価	2 次評価	
		施設の 整備手法	基本方針	
閑上体育館	80 年	長寿命化	機能保持	維持管理
市民球場（メインスタンド）	60 年	長寿命化	機能保持	維持管理
管理棟	60 年	長寿命化	機能保持	維持管理
名取市民体育館	60 年	長寿命化	機能保持	維持管理
増田体育館	60 年	廃止	廃止	廃止
高館体育館	60 年	廃止	廃止	廃止

※増田体育館、高館体育館は、令和 7 年度内の取壊しに向けて調整を行っています。

2) 屋外施設（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）

箱塚グラウンドは、遊水池への転換を図るため、グラウンドとしては廃止します。工事に向けて、2029（令和 11）年度から利用を停止します。

その他の施設は、今後も維持管理していくものとします。

図表：屋外施設（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）の管理方針

施設名	評価 まとめ
閑上グラウンド	維持管理
相互台東グラウンド	維持管理
市民陸上競技場	維持管理
市民庭球場	維持管理
市民球場（グラウンド）	維持管理
名取が丘グラウンド	維持管理
高館河川グラウンド	維持管理
増田グラウンド	維持管理
高館グラウンド	維持管理
箱塚グラウンド	廃止

※箱塚グラウンドは、遊水池への転換を図るため令和 11 年度からグラウンドとしての利用を停止します。

3 維持管理上の方針

屋内・屋外施設を維持管理していくにあたり、特に必要な改修等について次のとおりまとめました。改修の順位付けを行う際にも考慮していきます。

1) LED 照明器具への改修

水銀ランプは 2021（令和 3）年から製造及び輸出入が禁止され国内在庫を残すのみであり、蛍光灯は、2027（令和 9）年 12 月末までに製造及び輸出入が禁止されます。施設の適切な維持管理に向けて LED 照明への計画的な交換を行うとともに、省電力照明設備に転換することで二酸化炭素の削減により地球温暖化防止にも貢献していきます。

2) 相互台東グラウンドのトイレの再整備

相互台東グラウンドのトイレの再整備を 2028（令和 10）年度に実施します。

この工事は、2029（令和 11）年度に利用を停止する箱塚グラウンドに対し、相互台東グラウンド利用者の増加が見込まれることから、トイレの施設環境と処理能力の向上に向けて再整備を行います。

3) 名取市民体育館の長寿命化

名取市民体育館の改修等の優先度は 2 位評価であり、同評価の高館体育館は取壊しに向けて調整を行っていることから実質、最優先に改修工事に着手すべき施設となります。

名取市民体育館は建設から 43 年が経過しており、設定した目標使用年数（60 年間）までの残り年数は 17 年間となりますが、年間約 10 万人が利用する名取市最大の体育施設であることから、改修工事などの費用対効果を考えながら利活用可能なうちは活用するものとします。

施設を適切に維持し、長寿命化を図るためには屋根や外壁などの修繕周期を考慮した改修工事がが必要です。前回行った大規模改修（2012（平成 24）年）から 20 年経過する 2032（令和 14）年に屋根や外壁の改修工事を行い 70 年以上活用する施設として維持管理を行っていきます。

4 今後の課題

目標使用年数を 60 年と設定した管理棟、市民球場（メインスタンド）、名取市民体育館は、建替えまでの残り使用年数が 20 年から 30 年程度となります。当該地で建替えを行う場合、建替えが完了するまでの数年間、施設を閉鎖する必要が出てきます。

また、取壊しを予定する増田体育館と高館体育館の代替施設の必要性や、箱塚グラウンドが遊水池へ転換された後のスポーツ施設としての利活用、スポーツ施設を含む十三塚公園全体の在り方など、多面的な視点から検討する必要も出てきました。

なお、計画対象施設ではありませんが、同じ体育施設を保有する学校施設の体育館やプール施設の老朽化や改修・更新に係る費用も課題となっています。

これらの課題については、2026（令和 8）年度までに策定予定である「名取市体育施設整備方針」の中で、地域スポーツの振興と本市の財政状況を踏まえながら、社会体育施設の将来的な集約・統合の可能性や施設の適正規模、再配置を含めた検討を行い、施設整備の方向性を示していきます。

5 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 改修等の順位付け

施設重要度・評価による優先度を参考に、維持管理上の方針も加味した改修の順位付けを行いました。

施設名	施設重要度	評価	優先度	維持管理上の方針	改修順位
名取市民体育館	I	C	2	LED・長寿命化	1
市民球場（メインスタンド）	Ⅲ	C	4	LED	2
市民球場（グラウンド）	Ⅲ	B	5		
管理棟	Ⅲ	C	4	LED	
市民庭球場	Ⅲ	B	5	LED	
相互台東グラウンド	Ⅲ	B	5	トイレ再整備	3
閑上体育館	Ⅱ	B	4	—	4
高館グラウンド	Ⅲ	C	4	—	随時 対応
閑上グラウンド	Ⅲ	B	5	—	
市民陸上競技場	Ⅲ	B	5	—	
名取が丘グラウンド	Ⅲ	B	5	—	
高館河川グラウンド	Ⅲ	B	5	—	
増田グラウンド	Ⅲ	B	5	—	

※市民球場（メインスタンド・グラウンド）はメインスタンドの評価を踏まえ、一体的に改修する。

※維持管理上の方針を示したものについては優先的に改修

施設重要度・評価における改修等の優先度

施設重要度は、災害発生時の防災拠点や避難場所に指定されている施設を重要性が高い施設として扱います。施設重要度と、屋内施設（建物）の安全性・機能性の評価、屋外施設（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）の目視調査の評価により優先度を定めます。

図表：施設重要度

施設重要度	内容
施設重要度Ⅰ	災害発生時の拠点施設
施設重要度Ⅱ	災害発生時の避難場所、調達物資の集積場所
施設重要度Ⅲ	その他の施設

図表：改修等の優先度

項目	評価D	評価C	評価B	評価A
施設重要度Ⅰ	優先度1	優先度2	優先度3	優先度4
施設重要度Ⅱ	優先度2	優先度3	優先度4	優先度5
施設重要度Ⅲ	優先度3	優先度4	優先度5	優先度6

(2) 長寿命化修繕計画

今後 32 年間の事業の見通しは以下のとおりです。

※事業下段は工事費（千円）

施設名	竣工 年数	目標 使用 年数	残り 年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
				R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
				2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
市民球場	1982 (1996)	60	32			①			④				
						191,809			30,435				
市民陸上競技場	1984	-	-										
市民庭球場	1984	-	-				②						
							31,150						
管理棟	1988	60	24			①							
						2,410							
名取市民体育館	1981	74	31		①			③		⑤ (屋上防水)	⑤ (外壁)	⑥	
					25,311			22,000		137,264	41,402	1,000	
関上体育館	2019	80	75										
増田 グラウンド	1954	-	-										
高館 グラウンド	1960	-	-										
高館河川 グラウンド	1973	-	-										
名取が丘 グラウンド	1992	-	-										
相互台東 グラウンド	2014	-	-				⑦						
							9,000						
関上 グラウンド	2019	-	-										
増田体育館	1953	60	-11	取壊 予定									
高館体育館	1960	60	-4	取壊 予定									
箱塚 グラウンド	1974	-	-					利用 停止					
整備方針策定				⑨									
工事費（千円）					25,311	194,219	40,150	22,000	30,435	137,264	41,402	1,000	
				2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
				R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

凡例

番号	事業内容
①	LED 改修（市民体育館は内装改修含む）
②	LED 改修及び壁打ち修繕
③	玄関前タイル張り舗装修繕
④	内部仕上げ改修、グラウンド外周のクッションウォール修繕
⑤	屋上・外壁改修
⑥	アリーナ床修繕
⑦	トイレ整備
⑧	建替時期（「名取市体育施設整備方針」の中で検討）
⑨	アンケート及び整備方針策定

施設名	竣工	目標 使用 年数	残り 年数	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26
				2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044
市民球場	1982 (1996)	60	32										
市民陸上競技場	1984	-	-										
市民庭球場	1984	-	-										
管理棟	1988	60	24										
名取市民体育館	1981	74	31										
関上体育館	2019	80	75					⑤					
								45,983					
増田 グラウンド	1954	-	-										
高館 グラウンド	1960	-	-										
高館河川 グラウンド	1973	-	-										
名取が丘 グラウンド	1992	-	-										
相互台東 グラウンド	2014	-	-										
関上 グラウンド	2019	-	-										
増田体育館	1953	60	-11										
高館体育館	1960	60	-4										
箱塚 グラウンド	1974	-	-										
整備方針策定													
工事費（千円）								45,983					
				2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044
				R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26
				11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

施設名	竣工	目標 使用 年数	残り 年数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
				R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38
				2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056
市民球場	1982 (1996)	60	32										⑧		
市民陸上競技場	1984	-	-												
市民庭球場	1984	-	-												
管理棟	1988	60	24			⑧									
名取市民体育館	1981	74	31									⑧			
閑上体育館	2019	80	75												
増田 グラウンド	1954	-	-												
高館 グラウンド	1960	-	-												
高館河川 グラウンド	1973	-	-												
名取が丘 グラウンド	1992	-	-												
相互台東 グラウンド	2014	-	-												
閑上 グラウンド	2019	-	-												
増田体育館	1953	60	-11												
高館体育館	1960	60	-4												
箱塚 グラウンド	1974	-	-												
整備方針策定															
工事費（千円）															
				2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056
				R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38
				21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32

※建物の建設期間（既存の取壊しは含まない）は、市民球場と名取市民体育館は3か年、その他施設は2か年を想定する。

(3) 長寿命化修繕計画（施設ごと）

今後、10 年間に行う施設ごとの修繕・改修工事は以下のとおりです。

施設名	修繕等の内容（事業費）
名取市民体育館	○2026（令和 8）年度 内装改修（2,203 千円） 照明設備の LED 改修（23,108 千円） ○2029（令和 11）年度 玄関前タイル張り舗装修繕 （22,000 千円） ○2031・2032（令和 13・14）年度 屋上防水改修（137,264 千円） ○2033（令和 15）年度 外壁改修（41,402 千円） ○2034（令和 16）年度 アリーナ床修繕（1,000 千円） 226,977 千円
市民球場 （メインスタンド）	○2027（令和 9）年度 照明設備の LED 改修（8,109 千円） ○2030（令和 12）年度 メインスタンドの内装改修 （6,435 千円） 14,544 千円
市民球場 （グラウンド）	○2027（令和 9）年度 照明設備の LED 改修（183,700 千円） ○2030（令和 12）年度 グラウンド衝撃吸収用クッション 修繕（24,000 千円） 207,700 千円
管理棟	○2027（令和 9）年度 照明設備の LED 改修（2,410 千円） 2,410 千円
市民庭球場	○2028（令和 10）年度 照明設備の LED 改修（29,150 千円） 壁打ち壁面修繕（2,000 千円） 31,150 千円
相互台東グラウンド	○2028（令和 10）年度 トイレの再整備（9,000 千円） 9,000 千円
増田体育館	○2025（令和 7）年度 取壊し
高舘体育館	○2025（令和 7）年度 取壊し

第4章 長寿命化計画の推進に向けて

1 推進体制等の整備

本計画を推進するにあたり名取市スポーツ推進計画と連携して計画の推進に努めます。

国や県の動向や方向性を確認しながら計画を推進するとともに、計画を着実に推進するために教育、福祉、観光などの他分野との連携を図ります。

また、生涯スポーツの振興に向けて、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員協議会、スポーツ協会、スポーツ少年団、体育施設指定管理者などの関係団体をはじめ、多様な連携を図っていきます。

施設の管理にあたっては、指定管理者等の保全に関する技術力の向上を推進するとともに、指定管理者への助言・指導など適切な支援を行っていきます。

2 フォローアップ

本計画のフォローアップにあたっては、実施計画の進捗状況とともに名取市スポーツ推進計画における施策の進捗や成果指標の達成度合い、スポーツ推進審議会の評価などと連携し、必要な対策を講じる PDCA サイクルを構築することで継続的な計画改善に取り組みます。

また、アクションとなる対策の検討にあたっては、前項の「推進体制等の整備」で示したようにスポーツを巡る最新の動向を把握しながら庁内関係部局や関係団体との調整を図りながら計画の推進に向けて取り組んでいきます。

資料編

1 施設概要

十三塚公園：市民球場

所在地	名取市手倉田字山
主な用途	野球場
併設施設	管理棟、市民陸上競技場、市民庭球場
竣工年	1982 年度（メインスタンド：1996 年度）
敷地面積	12,633.00 m ² （延床面積：1962.00 m ² ）
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上 2 階
規模・設備	観客席（1,072 席）、中堅 120m、両翼 90m
運営形態	指定管理



十三塚公園：市民陸上競技場

所在地	名取市手倉田字山
主な用途	陸上競技場、サッカー場
併設施設	管理棟、市民球場、市民庭球場
竣工年	1984 年度
敷地面積	23,100.00 m ²
舗装	クレイ舗装、天然芝舗装
規模・設備	400mトラック、サッカー場
運営形態	指定管理



十三塚公園：市民庭球場

所在地	名取市手倉田字山
主な用途	テニスコート
併設施設	管理棟、市民球場、市民陸上競技場
竣工年	1984 年度
敷地面積	5,384.00 m ²
舗装	人工芝舗装
規模・設備	全天候型コート 5 面、練習コート 1 面
運営形態	指定管理



十三塚公園：管理棟

所在地	名取市手倉田字山
主な用途	管理事務所
併設施設	市民球場、市民陸上競技場、市民庭球場
竣工年	1988 年度
延床面積	287.14 m ²
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上 2 階、地下 1 階
規模・設備	－
運営形態	指定管理



名取市民体育館

所在地	名取市増田字柳田 250
主な用途	体育館
併設施設	－
竣工年	1981 年度
延床面積	5,549.76 ㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上 2 階
規模・設備	アリーナ、武道場、トレーニング場、会議室など
運営形態	指定管理



関上体育館

所在地	名取市関上中央一丁目 34
主な用途	体育館
併設施設	関上公民館
竣工年	2019 年度
延床面積	777.51 ㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上 2 階
規模・設備	－
運営形態	直営



増田体育館

所在地	名取市増田 5 丁目
主な用途	体育館
併設施設	増田グラウンド
竣工年	1953 年度
延床面積	575.00 ㎡
構造・階数	鉄骨造 地上 1 階
規模・設備	－
運営形態	直営



高館体育館

所在地	名取市高館吉田字東真坂 981
主な用途	体育館
併設施設	高館公民館、高館グラウンド
竣工年	1960 年度
延床面積	506.76 ㎡
構造・階数	鉄骨造 地上 1 階
規模・設備	－
運営形態	直営



増田グラウンド

所在地	名取市増田 5 丁目 593-1
主な用途	グラウンド（ゲートボール等）
併設施設	増田体育館
竣工年	1954 年度
敷地面積	10,695.00 m ²
舗装	クレイ舗装
規模・設備	－
運営形態	直営



高館グラウンド

所在地	名取市高館吉田字東真坂 10-2
主な用途	グラウンド（ゲートボール等）
併設施設	高館公民館、高館体育館
竣工年	1960 年度
敷地面積	8,571.00 m ²
舗装	クレイ舗装
規模・設備	－
運営形態	直営



高館河川グラウンド

所在地	名取市高館熊野堂字中河原 30
主な用途	グラウンド（ソフトボール等）
併設施設	－
竣工年	1973 年度
敷地面積	15,426.00 m ²
舗装	クレイ舗装
規模・設備	－
運営形態	直営



箱塚グラウンド

所在地	名取市手倉田字箱塚屋敷 1-4
主な用途	グラウンド（ソフトボール等）
併設施設	－
竣工年	1974 年度
敷地面積	27,831.00 m ²
舗装	クレイ舗装
規模・設備	－
運営形態	直営



名取が丘グラウンド

所在地	名取市名取が丘 3 丁目 30-3
主な用途	グラウンド（ゲートボール等）
併設施設	名取が丘公民館
竣工年	1975 年度
敷地面積	5,511.00 m ²
舗装	クレイ舗装
規模・設備	－
運営形態	直営



相互台東グラウンド

所在地	名取市相互台東 1 丁目 28-349
主な用途	グラウンド（野球、サッカー等）
併設施設	－
竣工年	2014 年度
敷地面積	25,017.00 m ²
舗装	クレイ舗装
規模・設備	－
運営形態	直営



閑上グラウンド

所在地	名取市閑上東一丁目 12-1
主な用途	グラウンド（野球、サッカー等）
併設施設	－
竣工年	2019 年度
敷地面積	60,672.00 m ²
舗装	クレイ舗装
規模・設備	－
運営形態	直営



2 施設の整備状況、利用状況及び運営状況

(1) 対象施設の整備状況（建物）

施設名	構造 階数	竣工年	経過 年数	建替えま での残り 年数※	耐震性能 の有無
市民球場（メインスタンド）	RC2	1996	28	52	○
管理棟	RC2. 地下 1	1988	36	44	○
名取市民体育館	RC3	1981	43	37	○
閑上体育館	RC2	2019	5	75	○
増田体育館	S1	1953	71	9	×
高館体育館	S1	1960	64	16	×

※名取市公共施設等総合管理計画における長寿命化（80 年活用）した場合の建替えまでの残りの年数。

○：耐震性能あり、×：耐震性能なし、－：対象外

■旧耐震基準と新耐震基準

1981(昭和 56)年の建築基準法の改正により、建築物の耐震基準が変更されました。
 新耐震基準は、建築物の耐用年数中に何度か遭遇するような中規模の地震(震度 5 弱程度)に対しては構造体を無害にとどめ、きわめてまれに遭遇するような大地震(震度 6 から 7)に対しては人命に危険を及ぼすような倒壊等の被害を生じないことを目標とする規定です。
 1981(昭和 56)年 5 月 31 日以前に建築確認が行われた建築物のうち、一定規模以上のものは、現行の構造基準に基づき耐震性の有無を確認する耐震診断が必要となります。

(2) 対象施設の整備状況（市民陸上競技場・市民庭球場・グラウンド）

施設名	構造 階数	竣工年	経過 年数	建替えま での残り 年数	耐震性能 の有無
市民球場（グラウンド）	－	1982	42	－	－
市民陸上競技場	－	1984	40	－	－
市民庭球場	－	1984	40	－	－
増田グラウンド	－	1954	70	－	－
高館グラウンド	－	1960	64	－	－
高館河川グラウンド	－	1973	51	－	－
箱塚グラウンド	－	1974	50	－	－
名取が丘グラウンド	－	1975	49	－	－
相互台東グラウンド	－	2014	10	－	－
閑上グラウンド	－	2019	5	－	－

○：耐震性能あり、×：耐震性能なし、－：対象外

(3) LED 照明の整備状況

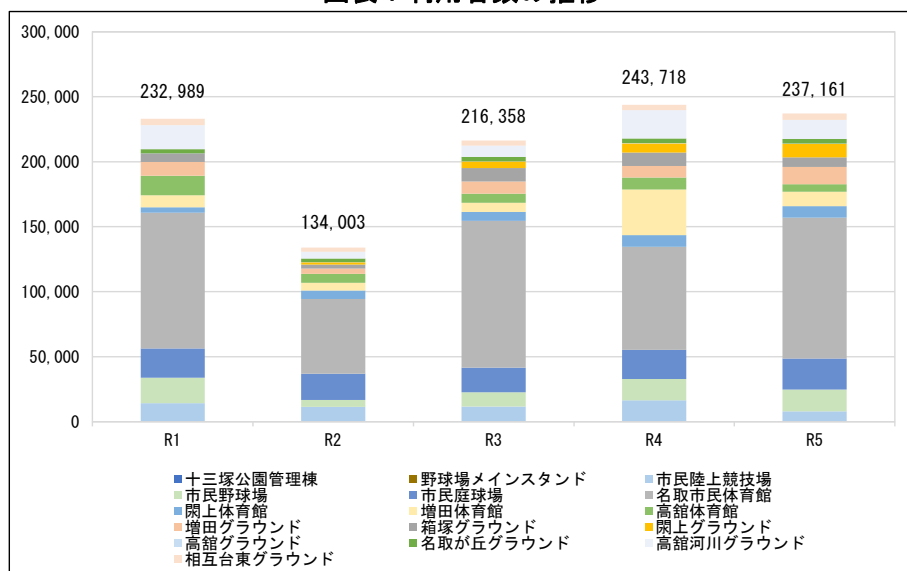
施設名	LED 照明	備考
市民球場（メインスタンド）	×	
市民球場（グラウンド）	×	
市民陸上競技場	－	
市民庭球場	×	
管理棟	×	
名取市民体育館	△	アリーナは交換済み
閑上体育館	○	
増田体育館	×	
高館体育館	×	

○：LED 照明、△：一部 LED 照明、×：水銀灯または蛍光灯、－：照明設備なし

(4) 対象施設の利用者状況

施設名	小分類	主な利用者属性	R1	R2	R3	R4	R5
市民球場	－	一般	19,655	5,363	10,816	16,461	16,678
市民陸上競技場	－	一般	14,252	11,385	11,771	16,469	7,980
市民庭球場	－	一般	22,486	20,297	18,984	22,362	24,001
管理棟	－	－	－	－	－	－	－
名取市民体育館	スポーツ利用	一般	97,241	53,262	112,696	75,179	94,236
	会議室	一般	7,193	4,049	183	3,978	14,060
閑上体育館	－	一般	4,188	6,636	7,021	9,121	8,901
増田体育館	－	一般	9,129	5,972	6,987	35,156	11,107
高館体育館	－	一般	15,040	6,811	6,944	9,097	5,852
増田グラウンド	－	学生・高齢者	10,536	4,055	9,313	8,850	13,147
高館グラウンド	－	高齢者	135	135	135	135	135
高館河川グラウンド	－	学生	18,290	5,095	8,600	21,775	14,750
箱塚グラウンド	－	一般	6,637	3,041	10,469	10,528	7,400
名取が丘グラウンド	－	高齢者	3,231	2,915	3,484	3,683	3,518
相互台東グラウンド	－	学生	4,976	3,268	4,007	3,995	4,972
閑上グラウンド	－	学生	－	1,719	4,948	6,929	10,424
合計			232,989	134,003	216,358	243,718	237,161

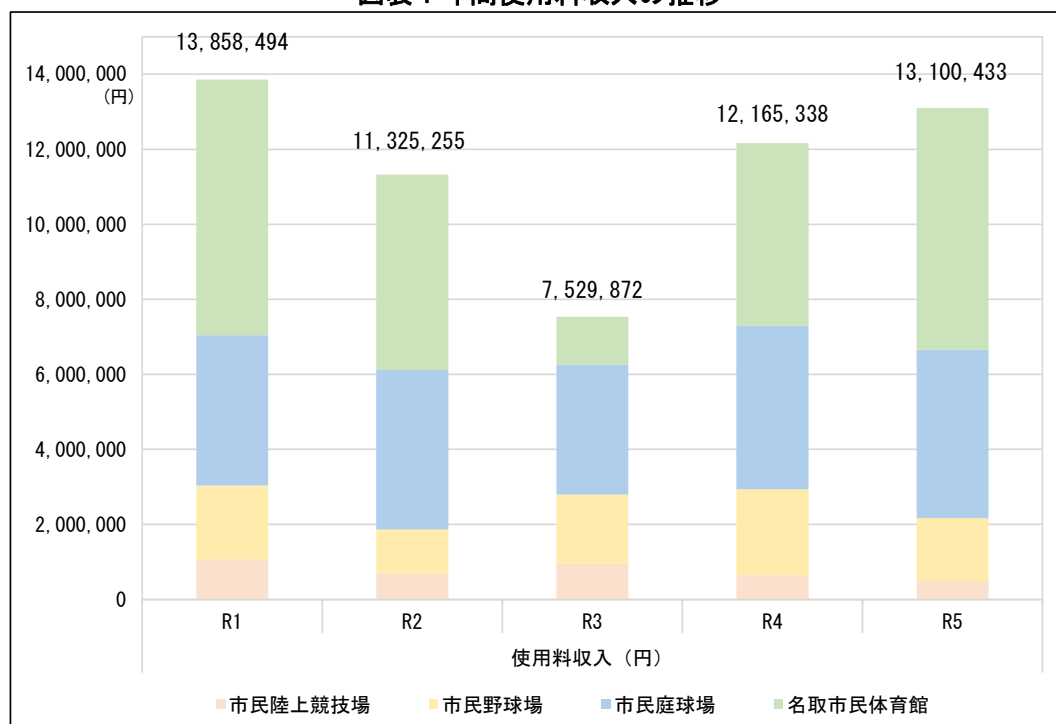
図表：利用者数の推移



(5) 対象施設の使用料収入

施設名	使用料収入（円）				
	R1	R2	R3	R4	R5
市民球場	1,974,475	1,165,175	1,839,375	2,292,150	1,679,825
市民陸上競技場	1,063,900	699,690	954,390	643,585	489,950
市民庭球場	4,005,104	4,250,025	3,457,927	4,362,703	4,485,688
名取市民体育館	6,815,015	5,210,365	1,278,180	4,866,900	6,444,970
合計	13,858,494	11,325,255	7,529,872	12,165,338	13,100,433

図表：年間使用料収入の推移



(6) 社会体育施設の AED 設置状況

施設名	AED 設置状況	備考
市民球場	○	
市民陸上競技場	△	管理棟に設置あり
市民庭球場	△	管理棟に設置あり
管理棟	○	
名取市民体育館	○	
閑上体育館	○	閑上公民館に設置あり
増田体育館	△	田高町東集会場に設置あり
高館体育館	△	高館公民館に設置あり
増田グラウンド	△	田高町東集会場に設置あり
高館グラウンド	△	高館公民館に設置あり
高館河川グラウンド	×	(株)宮城運輸に設置あり
箱塚グラウンド	×	丹野小児科医院、 養護老人ホーム松寿園に設置あり
名取が丘グラウンド	△	名取が丘公民館、 名取が丘児童センターに設置あり
相互台東グラウンド	×	相互台公民館に設置あり
閑上グラウンド	×	フーズガーデンゆりあげ食彩館に設置あり

※日本全国 AED マップより作成

○：施設内に設置あり

△：隣接施設に設置あり

×

■ A E D とは

AED は、Automated External Defibrillator の頭文字をとったもので、日本語訳は自動体外式除細動器といいます。小型の器械で、体外（裸の胸の上）に貼った電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断します。もし心室細動という不整脈を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること（電気ショック）で、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。器械の電源を入れれば音声を使い方を順に指示してくれるので、誰でもこの器械を使って救命活動を行うことができます。

出典：公益財団法人 日本心臓財団

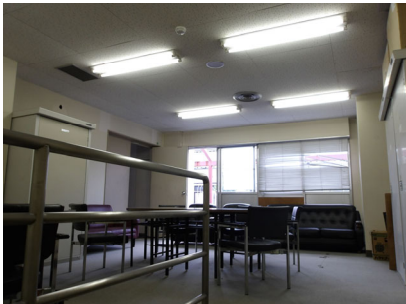
29

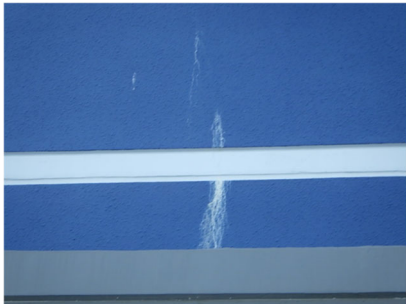
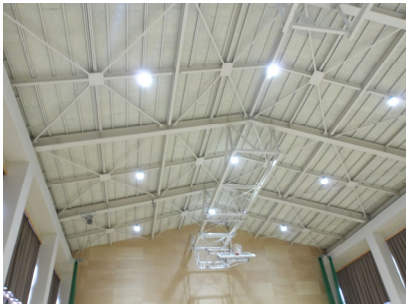
3 劣化状況

(1) 施設別劣化状況（建物）

十三塚公園 市民球場（メインスタンド）		
外観 	屋根・屋上  B 防水層の汚損	外壁  B 外壁の破損
内部仕上げ  C 内壁のひび割れ、漏水跡	電気・機械設備  B 建設から 28 年経過 LED 照明に交換要す	その他  B 観客席支障なし
健全度	62/100	建設から 28 年が経過し、2023 年度に部分的にスタンドの改修工事を実施しました。その他にも屋上（スタンド）や外壁、内部仕上げなど、修繕・改修を行ってきましたが施設の老朽化は進行しています。特に内部仕上げでは壁に大きなひび割れや穴、長尺シートのたわみなどがみられますので、日常点検やメンテナンスを実施し、適切な時期に修繕を行っていくことが望まれます。また、照明器具が蛍光灯のため LED 照明への交換が必要となっています。

十三塚公園 管理棟			
外観 		屋根・屋上 	外壁 
		C 防水層のはく離	B 外壁のひび割れ
内部仕上げ 		電気・機械設備 	その他 
B 結露、巾木のはく離		B 建設から 36 年経過 LED 照明に交換要す	C 階段手摺の腐食
健全度	72/100	建設から 36 年経過し、経年劣化が各所にみられます。外部階段の手摺の腐食や屋上防水層のはく離、内部仕上げの天井ボードの脱落などがみられますので、日常点検やメンテナンスを実施し、適切な時期に修繕を行っていくことが望まれます。また、照明器具が蛍光灯のため LED 照明への交換が必要となっています。	

名取市民体育館		
外観 	屋根・屋上  C シート防水の浮き	外壁  B 塗装のはく離
内部仕上げ  B 1 F 第2会議室 天井の漏水跡	電気・機械設備  C 建設から 43 年経過 LED 照明に交換要す	その他  C 2F 武道場の雨漏り
健全度	63/100	建設から 43 年が経過しており、経年劣化が各所にみられます。2012 年度に実施した施設改修以降も外壁や内部仕上げなどの補修工事を行ってきましたが、施設の老朽化は進行しています。特にアリーナ側の屋上防水シートに破れがあり、防水層の中に水の滞留もみられます。日常点検やメンテナンスを実施し、適切な時期に修繕を行っていくことが望まれます。また、アリーナ及び武道場以外の照明器具が蛍光灯のため LED 照明への交換が必要となっています。

閑上体育館		
外観 	屋根・屋上  A 支障なし	外壁  B 外壁の白華
内部仕上げ  A 支障なし	電気・機械設備  A 建設から5年経過	その他  B 仕上げ材のはく離
健全度	93/100	建設から5年が経過し、外壁に軽度なクラックや白華が見られます。現状は軽微な劣化となりますが経過年数に応じて劣化は進行していきますので、日常点検やメンテナンスを実施し、中長期的な修繕計画を作成の上、適切な時期に修繕を行うことが望まれます。

(2) 施設別劣化状況（屋外施設）

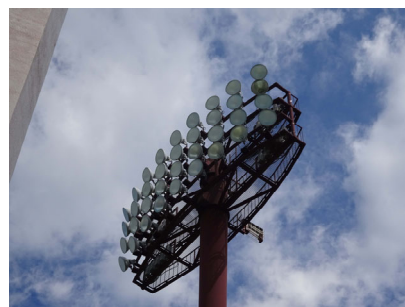
十三塚公園 市民球場



球場（舗装）
クレイ舗装支障なし



防護マット
防護マットの退色



照明塔
LED 照明に交換要す

評価

B

屋外球場として 1982 年度に整備し、竣工から 42 年が経過しています。2023 年度にグラウンド表層材（クレイ）の入替え、2024 年度にスコアボードの改修を実施しました。
施設設備の不具合として、ダッグアウトなどに使用される防護マットに退色やき裂、フェンスの損傷を確認しました。
また、照明設備が水銀ランプのため LED 照明への交換が必要となっています。

十三塚公園 市民陸上競技場



トラック（舗装）
クレイ舗装支障なし



フィールド競技：走幅跳
踏切板、砂場枠組み欠損



フィールド競技：砲丸投
砲丸投サークルの埋没

評価

B

陸上競技場兼サッカー競技場として 1984 年度に整備し、竣工から 40 年が経過しています。
トラックのクレイ舗装（表層材）に支障は見られませんが、フィールド競技の走幅跳、走高跳、砲丸投施設において経年劣化による設備の欠損などを確認しました。

十三塚公園 市民庭球場



テニスコート（舗装）
人工芝支障なし



壁打ち
壁面の損傷



照明灯
LED 照明に交換要す

評価

B

屋外テニスコートとして 1984 年度に整備し、竣工から 40 年が経過しています。テニスコートの人工芝に支障は見られませんが、壁打ちの壁面に損傷を確認しました。また、照明設備が水銀ランプのため LED 照明への交換が必要となっています。
なお、施設設備の不具合ではありませんが、周囲を木々に囲まれているため、落ち葉が人工芝に張り付くなど、管理に負担が生じています。

増田グラウンド



グラウンド（舗装）
クレイ舗装支障なし



バックネット
鉄部の腐食



フェンス
鉄部の腐食

評価

B

増田グラウンドは 1954 年度に整備し、竣工から 70 年が経過しています。グラウンドのクレイ舗装に支障は見られませんが、バックネットやフェンスの鉄部に腐食を確認しました。なお、過去にグラウンド利用者のボールがフェンスを越えて住宅に飛び込む事故が発生していることから、フェンスを高くするなどの安全対策を講じる必要があります。

高館グラウンド



グラウンド（舗装）
不陸、水はけが悪い



グラウンド（舗装）
通路利用している



バックネット
鉄部の腐食

評価

C

旧高館中学校のグラウンドを高館グラウンドとして活用しています。1960 年度に整備し、竣工から 64 年が経過しています。不具合の状況としては、水はけが悪い状況のなかで、敷地の一部が公民館のアクセス道路となっていることや、隣接する県立名取支援学校の臨時駐車場として利用されることから舗装が荒れ、不陸（凹凸）が生じています。

高館河川グラウンド



グラウンド（舗装）
不陸あり



グラウンド（舗装）
水はけが悪い



バックネット
支障なし

評価

B

高館河川グラウンドは 1973 年度に整備し、竣工から 51 年が経過しています。グラウンドの水はけが悪く、一部不陸（凹凸）が生じていますが、河川グラウンドであるため大規模工事は河川法に抵触する可能性があります。

箱塚グラウンド



グラウンド（舗装）
草木が繁茂し、水はけが悪い



木々の浸食
年々木々が浸食し、面積が縮小



バックネット
鉄部の腐食

評価

C

箱塚グラウンドは 1974 年度に整備し、竣工から 50 年が経過するなかで、一時期、震災復興に向けた仮設住宅を整備したグラウンドです。仮設住宅の撤去を契機にクレイ舗装のグラウンドとして再整備を行いましたが、年々木々の浸食を受けるとともに除草しても草木が生えてくる状況です。今後、グラウンドから遊水池に転換を図るため、2029 年度からグラウンドとしての利用を停止する予定です。

名取が丘グラウンド



グラウンド（舗装）
不陸あり



フェンス
未整備



バックネット
支障なし

評価

B

名取が丘グラウンドは 1975 年度に整備し、竣工から 49 年が経過しています。不具合の状況としては、クレイ舗装の一部に不陸（凹凸）が生じているとともに、道路境界にフェンスがないため、グラウンド利用者のボールが敷地外に飛び出すことが懸念されます。

相互台東グラウンド



グラウンド（舗装）
粘性度が高く、水はけが悪い



グラウンド（舗装）
草木の繁茂



簡易トイレ
支障なし

評価

B

相互台東グラウンドは 2014 年度に整備し、竣工から 10 年が経過しています。不具合の状況としては、グラウンドの舗装は粘性度が高く、水はけも悪い状況です。また、山に接しているため、除草しても草木が生えてくる状況にあります。
なお、今後、箱塚グラウンドの利用停止に伴いグラウンド利用者の増加が見込まれることから、トイレの再整備を行います。

閑上グラウンド



グラウンド（舗装）
部分的に水はけが悪い



バックネット
支障なし



フェンス
支障なし

評価

B

閑上グラウンドは 2019 年度に整備し、竣工から 5 年が経過しています。不具合の状況として、部分的に水はけが悪い場所を確認しました。

名取市社会体育施設長寿命化計画

令和 7 年 3 月

名取市

〒981-1292 宮城県名取市増田字柳田 80

電話：022-384-2111（代表）